

《 徳島県委員会体育健康課 参考資料 指導事例 体育理論・入学年次の次の年次 》

単元名 『運動やスポーツの効果的な学習の仕方』

【本時のねらい】 運動やスポーツを行う際は、気象条件の変化など様々な危険を予見し、回避することが求められることを理解する。

6時間目 『運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方』

【展開】

時間	学 習 活 動	教師の指導・留意点	評 価
5	○ 本時の学習内容を確認する。 ○ 発問について生徒が各事例を挙げる。 発問①「今までに運動をされていて、どんなけがをしたことがありますか？」	○本時の学習内容を説明する。 ○生徒が答えた内容についてけがの種類(競技種目)等に分けて板書する。	【関心・意欲・態度】 ・発問に対して検討しようとしている。 ・意見交換への発言や仲間の意見を聞こうとしている。
10	○ 発問についてグループ単位で話し合い、予防策を発表する。 発問②「スポーツ種目とけがの発生原因の表を見て、予防策について考えてみよう」	○『スポーツ種目とけがの発生原因の表』を取り込んだワークシート活用し、生徒に対処法を考えさせる。 ○間違いとわかるものは修正し、適切な予防策について板書する。	【思考・判断】 ワークシート等の表を適切に分析し、対処法や予防策について工夫している。
30	○ オーバートレーニングの危険性を理解する。 ○ 発問に対して答える。 発問③「夏の野外で運動を行うときにはどんなことに注意しなければいけないですか？」	○有名選手の事例を挙げて、オーバートレーニングの危険性と対処法について、動画や写真を含めたパワーポイント(又は板書・プリント資料)で示す。	【知識・理解】 運動によって起こりうるけがや障害について、またその予防策などについて具体的に言ったり、書き出したりしている。
40	○ 本時のまとめ	○熱中症・落雷等に焦点を絞り、パワーポイント(又は板書・プリント資料)で示す。(低温時の事例についても触れる) ○生涯スポーツの実施に向けて、運動やスポーツを行う際には、効果的な学習の仕方があることを確認させる。 次年次の内容について触れる	

--	--	--	--